

学習課題(小学校1年生)



【国語】

〈学習内容〉

◆「てがみで しらせよう」（きょうかしょ 66～67 ページ）を学しゅうします。

(1) てがみをかいたりもらったりしたことは、ありますか。おもいでしてみましよう。

手がみをだれからもらったか

どんなことがかいてあったか

もらったときのきもち

このたんげんでは、てがみのかきかたについて学しゅうします。

(2) 66 ページ、67 ページのてがみをこえにだしてよんでみましょう。



てがみは、しばらくあっていない人や、できごとをしらない人に、文しょうでないようをつたえることができます。

(3) 右のてがみの文をよみましょう。
67 ページの手がみとくらべると、かきかたでどんなところがちがいますか。ノートやとりくみシートに気がついたことをかきましよう。



手がみは、あいてにつたえたいことをそのまま、かけばいいのかな。

さかもとせんせい、げんき？
おんがくのじかんにたく
さんおぼえたよ。さかもとせ
んせいも、しっているうただ
とおもう。
こんど、ようちえんにあそ
びにいくね。
そのときうたうからきい
てね。
ともみ

(4) 67 ページのてがみの文のさいごに、あいてのことをおもいう文を入れようとおもいます。下の文をどのようにかえるとよいでしょうか。ノートやとりくみシートにかきましよう。

「さむい日がつづいているね。かぜをひかないようにきをつけてね。」



てがみをかくときは、わたすあいてのことをかんがえながら、ていねいなことばでかきます。

(5) あいてをきめて、てがみをかきます。

① てがみをかくあいてをきめます。

- ・ はなれてすんでいる、おじいちゃんやおばあちゃんにかく。
- ・ ひっこしたともだちにかく。
- ・ おうちの人にかく。

②ノートやとりくみシート、ワークシートにてがみをかきましょう。

- ① はじめにあいてのなまえをかきます。
- ② つたえたいことを、ていねいなことばでかきます。
- ③ じぶんのなまえをかきます。



チャレンジできる人は、②をかくときに、あいさつや、あいてをおもう文をいれてみましょう。

③かきおわったら、まちがいないか、よみかえしましょう。

※じっさいにてがみを出すときは、あたらしいかみにきれいにかきなおしたり、おうちの人にてがみのだしかたをそうだんしたりしましょう。

◆きいてたのしもう「わらしべちょうじゃ」（きょうかしよ 62～63 ページ）を学しゅうします。

(1) 62 ページの「わらしべちょうじゃ」のえをみて、どんなおはなしか、そうぞうしてみましよう。



・なぜ、わらをつかんだんだろう？
・なぜ、こうかんしたの？

どんどんこうかんして
いったおはなしか？



(2) おはなしをよんでもらって、おもしろかったところをおうちの人に、はなしてみましよう。

◆「日づけとよう日」（きょうかしよ 64～65 ページ）を学しゅうします。

- (1) 日づけのとなえうたをこえに出してよんでみましよう。
- (2) よう日のとなえうたをこえに出してよんでみましよう。



よみかたにちゅういして、よんでみよう。

二ひ日、三つ日、四よ日、五い日、六む日、七な日、八や日、九こ日、十と日、二十は日。

◆「かん字」を学しゅうします。

- ①きょうかしよ 64～65 ページの下のよみがなを見て、かん字のよみかたのれんしゅうしましよう。
- ②きょうかしよ 65 ページを見て、「花」「金」「休」「土」を、かきじゅんに気をつけて、れんしゅうしましよう。

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

- ・「てがみでしらせよう」の学習では、相手を想定して書くことで、内容を考えやすくなります。宛先等の書き方は、学年が上がってから学習します。
- ・「わらしべちょうじゃ」では、昔話等の伝統的な言語文化に親しむことを目標としています。教科書 P126 に文がありますので、読み聞かせを行い、ぜひ、お話の感想を聞いてください。
- ・「漢字の学習」では、様々な読み方が出てきています。教科書 P64～65 の下段に読み方が示されていますので、ご参照ください。

てがみでしらせよう ワークシート

名まえ（

）

あいてのなまえ

つたえたいこと

じぶんのなまえ